

教育目標

へにを自分
世界を
うとも夢を
らよう
ひのつこ
びくろえ

紙面から

- 1 高木教育委員年頭所感・プレゼン大会
- 2 中学生国内留学体験・ひのつ子ががんばっています
- 3 算数プロジェクト・東京駅伝大会 他
- 4 化石体験学習・本の森・ロープジャンプ大会 他

年頭所感
霊峰富士を仰ぎて想う

教育委員会
委員長職務代理者

高木 健夫



青く澄みきつた空、その中にそびえ立つ白く雪化粧した「富士山」を仰ぎ見るのが好きです。雄大で佳麗な富士山の裾野に立つと、圧倒されながらも体の中を風が吹き抜け、心身が清められるとともに励まされている様な感覚が生じます。

富士山は、昨年6月にはユネスコの世界文化遺産にも登録されました。古くから私たち日本人にとって、富士山は生活や文化・芸術面を初めとして多くの恵みや影響を与え続け、愛され賛美されてきました。

また、日野市の小・中学校の多くの校歌には、多摩川や浅川等の多摩地域の自然と併せて、遠くに仰ぐ富士山が、それぞれの作詞者の想いとともに歌詞に織り込まれています。多くのひのつ子の皆さんが、富士山を眺めながら学び育ってきたことをうかがうことができます。

私は、静岡県東部の富士山麓の町で生まれました。小・

中学生、高校生の時は、朝夕の通学や学校から四季折々の富士山を眺め、富士が出てくる校歌を歌って育ちました。日々、富士山を身近に見てその崇高さを感じながら過ごしました。

20才代からは、意識的に富士山を眺めることは少なくなりましたが、近年は赴いた場所からの富士山を意識するようになりました。空気が澄んだ季節には、関東は広い地域で遠くからも富士山を望むことができます。特に、真っ白い富士を見ると元気ができます。

富士山の雄大で気品ある姿に、かつては私自身の目標・夢や志と言ったものを二重写しにしてみました。富士山を仰ぎ見ること、自分自身の中の富士山と対比しています。当然のことながらいつもかないません。

富士山を眺め成長している子供たちは、心の中に富士山があります。ひのつ子一人一人が心にもっている富士山を、より一層高く大きくしていくことを、みんなで支え後押しをしていくことが大切です。本年も皆さんと共に精一杯活動をしていきますので、宜しくお願い致します。



第5回

児童・生徒による
プレゼンテーション大会を開催しました

1月18日(土)、子供たちの

コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を育成することをねらいとして、第5回児童・生徒によるプレゼンテーション大会を開催しました。

ひの煉瓦ホール(日野市民会館)を会場に、小・中学校あわせて20校の代表の子供たちが参加して、教科や総合的な学習の時間、特別活動などで取り組んできたことを発表しました。それぞれが発表方法を工夫し、ICTを活用して一生懸命に発表していました。

東光寺小学校
『私たちの日野用水』
日野用水の生き物や歴史について、目的を明確にして調べたことを発表しました。

夢が丘小学校
『レッツトライ 防災教育 みんなで防災教育を考えよう』
地震の原因や地域での対策について、調べてまとめた実物の安全マップの提示を交えながら発表しました。

日野第五小学校
『将来の夢について』
バスケットボール選手や薬剤師、ファッションモデルなど将来の夢について、劇を交えて発表しました。

日野第三小学校
『日野大好きプロジェクト』
蚕と梨づくり、地域の自然について、キャラクター役と博士役の発表者のやりとり、歌などを取り入れ、工夫して発表しました。

日野第八小学校

『学習してきたことを生かして』
いろいろな地方の言葉と星座について、学習で興味をもったことをさらに深く調べて発表しました。

平山小学校
『平山の里に生きる』
『未来につながる平山の歴史と伝統』
平山の地に学校ができて140年を迎えたことから、平山の歴史と平山里まつりの様子を発表しました。

潤徳小学校
『潤徳小の米作りを通して』
米作りの様子、種類、米を使った料理、米の生産量の変化など、米に関して調べたことを発表しました。

日野第二小学校
『発見!地域の宝』
日野第二小学校の宝と考えた第一校庭、豊田用水、公園について発表し、発表者同士の協議を行いました。

日野第二中学校
『農作業体験 体験記』
地域の農家での農作業体験の様子と考えたことを発表しました。

大坂上中学校
『職場体験』
働くことの意味や職場体験を通して学んだこと、考えたことを分かりやすく発表しました。

南平小学校
『わたしたちがすずかけ米』
南平小での米作りの様子を、畑研究家と児童とのやりとりをおして工夫して発表しました。

旭が丘小学校

『緑のカーテン』
緑のカーテンの取組について、実践した結果を具体的な数値などの記録を示して発表しました。

仲田小学校
『水田学習プロジェクト』
育てた稲の様子、稲作の伝来や工夫など体験活動の様子や米について調べたことを発表しました。

七生緑小学校
『発信!七生緑編集部』
子供たちの安全を見守る地域の方々の活動や、地域の酪農家へのインタビュー、取材を通して学んだことを発表しました。

日野第一小学校
『シルバー交流プロジェクト』
高齢者との交流の様子について、1回目の課題を生かして2回目に変更したことを中心に発表しました。

日野第七小学校
『地震について〜未来のために今出来ること〜』
過去の地震、地震の実態、地震への備えなど調べて考えたことを発表しました。

日野第四小学校
『自動車会社をつくらう』
自分たちが考えた自動車会社のコンセプトや理想の車について学んだことを生かして発表しました。

日野第六小学校
『地域調べレポート』
日野市の防災と安全、多摩平の歴史と開発について調べたことを発表しました。



七生中学校
『鎌倉校外学習』
鎌倉校外学習の様子についてエピソードや考えたことを交えて発表しました。

日野第四中学校
『ブリティッシュヒルズ』
国内留学に参加して中学生国内留学体験の施設、食事、授業の様子を説明し、最後に今後の決意を英語で発表しました。

自分たちで課題解決に取り組む、緊張しながらも、大きな舞台で発表できたことは、子供たちの自信となり、達成感を味わうことができたことと思います。今回で5回目を迎えました。今年も児童・生徒のプレゼンテーション能力が向上してきたことが実感できます。また、様々な学校の発表から学び合う貴重な機会にもなりました。一生懸命に発表する子供たちの姿に温かい拍手を送っていただきました。ご参加くださいました学校、保護者、地域の皆様、ありがとうございました。(学校課)

ひろく世界へ… 未来のリーダーたち

中学生国内留学体験を終えて

福島県石川郡にあるブリティッシュヒルズにて、12月26日から28日までの2泊3日、市内8校の中学校から20名の中学生が参加して、中学生国内留学体験を実施しました。ブリティッシュヒルズは、疑似体験型国際研修センターです。そこで働く人は、外国人講師をはじめとして、日本人もみな英語でしか話しません。生徒は、3日間で英語でのコミュニケーションを行う機会をたくさん得ることができました。

福島の石川郡にあるブリティッシュヒルズにて、12月26日から28日までの2泊3日、市内8校の中学校から20名の中学生が参加して、中学生国内留学体験を実施しました。ブリティッシュヒルズは、疑似体験型国際研修センターです。そこで働く人は、外国人講師をはじめとして、日本人もみな英語でしか話しません。生徒は、3日間で英語でのコミュニケーションを行う機会をたくさん得ることができました。

とそこはもう英国の世界が広がっていました。生徒は、早速、英語による入国審査を受けました。緊張しながらも一人一人がしっかりと自分自身のことを英語で話すことができました。その後、Survival English, Culture & Manners, Travel Abroad などのレッスンを受講し、外国人講師の皆さんの温かな励ましの中、間違いを恐れず口に出してみることに慣れてきました。最終日には、生徒同士でも自然と英語でのコミュニケーションが弾み、帰りの新幹線では英語が飛び交っていました。



この3日間で生徒たちは、英語を使ったコミュニケーションの楽しさを知り、もともと英語を使いたい、外国の文化や習慣を実際に確かめたいという思いを強くしたことでしよう。そして、一緒に参加した仲間やスタッフ、先生方との交流は、きつとかけがえないものになったはず。今回の中学生国内留学の実施に向けて、東京日野ロータリークラブをはじめ多くの皆様のご支援に心より感謝申し上げます。



この国内留学体験は、今年で11回目を迎える日野市教育委員会と東京日野ロータリークラブとの共催で実施している事業です。日野市の教育目標の一つ「ひろく世界へ」には、私たちの暮らしている故郷日野を愛するとともに、広く世界へ羽ばたいてほしいという願いが込められています。

また、日野市の中学生の代表として、自ら考え、行動できる可能性への挑戦とリーダーシップを育てる機会にもなると考えています。東北新幹線とバスを乗り継ぎ、現地に着きました。門をくぐる

がひのっ子 ばんばっ子 つてます

日野第五小学校

パナソニックキッズスクールCUP ロープジャンプ小学生決定戦「関東甲信越大会」に出場決定！
6年生1・2組ともに1次予選を見事通過し、関東甲信越大会への切符を手に入れました。

1月13日(月)、中央大学多摩キャンパスで行われる大会に向け今も朝練習に励んでいます。

五小の体育館からロープの音と熱いかけ声が響いています。頑張れ！五小！



日野第七小学校

12月7日(土)に行われた日野市のロードレース大会に5・6年生の希望者が参加しました。放課後、自主的に練習し、タイムを伸ばしました。5年生男子兵頭歩武君第5位、5年生女子青木音羽さん第7位と大健闘し

ました。本番では練習の成果もあり、全員が見事に完走しました。



南平小学校

4年生の米作り今年も110kg超。校庭の西の端には田んぼがあります。井戸からくみ上げた水を使っていきます。4月のしろかきが始まって、田植え、草取りを行い、夏休み明けには稲にはたくさんの実が付きまします。地域の方々に協力していただき、鳥よけの網を張り、10月には稲刈りです。今年も110kg以上のお米がとれました。



子供たちにとっては卒業してから業してからも思い出に残っています。

日野第四中学校

続々と都大会に出場。第52回東京都中学校秋季剣道大会、第56回東京都中学校バドミントン新人大会、第64回東京都中学校バスケットボール新人大会とそれぞれ都大会に出場しました。これまでの練習の成果を発揮しました。この経験を生かし、次の大きな目標を目指して一層練習に熱が入っています。

全国中学生人権作文コンテスト
2年生佐藤大和君が「人権を守るお手伝い」で、同じく速水強地君が「たった二文字でも」で、吉岡麻綾さんが「ネット社会ブライバシー」で都大会に進みました。

クリーン作戦

11月27日に生徒会主催のクリーン作戦を行いました。今年も交通安全協会のみなさまにもご協力いただき「ボランティアはさせてもらうもの」という気持ちを大切に旭ヶ丘中央公園などを清掃しました。



平山中学校

卓球部女子
日南地区卓球新人大会団体戦で女子が優勝しました。なかなか上位に食い込めなかったこの数年でしたが、夏休み頃から練習に力が入り一人一人がチーム

のために全力を出せた結果、30のストリートでの優勝でした。今後は更に高い目標をもって練習に励み、都大会でも良い成績を残したいと頑張っています。同時に行われた個人戦の部では準優勝と2人が5位に計3人が入賞することができました。



女子バスケットボール部

第15回、73地区(日野・多摩・稲城市)バスケットボール新人大会において、女子バスケットボール部が見事優勝を飾りました。大会では、2回戦からの出場でしたが、鋭いカットインシュートや速い攻撃を武器に、素晴らしい試合を展開しました。また、11月に開催された東京都大会では、初出場ながら日頃の練習の成果を十分に発揮し、のびのびとしたプレーを見せるなど健闘していました。今後の大会でも上位入賞し、都大会出場を目指します。



(学校課)

教育センター 「調査・研究の発表会」 にご参加を

教育センターでは、日野市の当面する二つの教育課題について調査・研究を行っています。

1 理科教育推進研究

「ひのっ子」の意欲を高める理科教育が展開されるよう学校・教員への理科支援の在り方(教員の理科の指導力の向上、理科授業の改善、地域の教材化)

2 郷土教育推進研究

ふるさと日野に誇りと愛着をもった「ひのっ子」を育成するための研究・実践(日野宿のフィールドワーク、郷土教材の開発と指導方法、幼稚園・小学校での実践事例、郷土資料館・新選組のふるさと歴史館・中央図書館の活用と連携)

以上二つの研究実践成果として発表会を開催します。

【日時】2月20日(木)

午後2時30分～
4時45分

【会場】教育センター3階
講堂(程久保50)

【問合せ】教育センター
(☎592-0505)

算数大好きプロジェクト 帝京大学 廣田先生による 「小学生土曜算数教室」



会場の日野第五小学校に集まった6年生

小学校6年生が、考える力を高める算数の問題に挑戦しました!

えたり、体験や操作を通して解決方法を発見したりしながら、自分の力で解決する喜びを味わい、算数を学ぶ楽しさを体験することができました。
12月14日(土)、今年度の最後の算数教室と閉講式を迎え、受講した6年生を代表して4名が感想を発表しました。

教育委員会では、教員のボランティアスタッフによる算数研究会と共催で、市内小学校6年生を対象に帝京大学客員教授 廣田敬一先生による土曜算数教室を開催しました。

この土曜算数教室は、子供たちが算数の問題を解決する楽しさを味わい、すすんで考え表現できるようになってほしいという願いをもって、平成23年度から始まり、今年で3年目を迎えました。今年、市内から120名近くの小学生が参加を希望し、抽選で選ばれた60名が4月から12月までの9回にわたって、考える力を伸ばす様々な問題に挑戦しました。

これまで、子供たちが挑戦した問題は、「九去法」、「回転寿司」、「立体の展開図」、「身の回りの長方形の比の秘密」などです。少し手ごたえのある問題に試行錯誤しながらじっくりと考

私が、一番印象に残った授業の一つは、いろいろな図形でサイコロを作ったことです。これも最初は分からない問題ばかりでしたが、周りの先生方がヒントを教えてくださいました。すると、どんどん考えが思いつきました。授業のまとめを書くのは難しく、苦手ですが、「簡単でいいよ。」と言われ、重要なことを一行くらいで書きました。毎回、先生がコメントを書いてくださったので、よりよく分かりました。
(潤徳小 矢澤 環緒さん)

土曜算数教室では、小学校の普段の授業では受けられないような内容の授業が受けられてとても勉強になりました。最初の問題からどんどん発展していく形の授業で、とてもおもしろいです。きまりを見つけて終わりではなく、その理由まで考えるのもとても楽しいです。問題は難しく、解くのに時間がかかりますが、その分、解けたときの喜びや達成感は大いです。
(日野第五小 牛奥 理世さん)

この算数大好きプロジェクトに参加して、本当によかったと思っています。ほくが参加した理由は、家族にすすめられたからです。最初は、「いやだなあ。」と思っていたけど、だんだんと楽しみに思えるようになってきました。第1回の九去法の授業を受けてから、次の授業が待ち遠しくなっていました。回転寿司の授業のときは、きまりを見付けるのが大変だったけど、きまりが分かるとすっきりして、次の考えへとつながっていきました。
(日野第五小 澤柳 樹生さん)



帝京大学 廣田敬一先生による算数教室

特別支援教育『就学・進学支援シート』の活用を

○支援シートは、平成26年度に小学校や中学校に就学・進学する特別な支援が必要なお子さんを対象にしています。対象になるお子さんの発達面、人とかかわり方の特性、園や学校で進めてきた指導内容等について、「就学支援シート」・「進学支援シート」を用いて、小学校や中学校に引き継ぎをするものです。
○引き継いだ小学校や中学校では、支援シートに書かれた内容を基に面接や指導計画の作成等を行い、新年度に向けてお子さんにとってより適切な学校生活の環境を整えるよう配慮いたします。
○支援シートは、保護者と幼稚園・保育園等、小学校が相談

を行いながら作成していただきます。
○支援シートの作成をご希望される保護者は、在籍している幼稚園・保育園等、小学校へご相談ください。
○シートに関する相談・問い合わせは「特別支援教育推進チーム」585-1111(内線5261)までご連絡ください。

第5回 中学生「東京駅伝」大会 代表選手決定



2月9日(日)昨年度より1ヶ月早く、第5回中学生「東京駅伝」大会が調布市にある味の素スタジアムにて開催されます。日野市の中学校2年生の中から男女合わせて33名が日野市の襷を受け継いで走ります。

今年の代表選手は、各学校で選考会を行い、タイム順に選考しました。補員も含めて、男子22名、女子23名、総勢45名のチームの誕生です。

11月30日、第1回の合同練習会を七生中学校校庭・浅川の河川敷で行いました。12月14日に

は、結団式を実施し、チーム日野の団結を強め、駅伝大会に臨みます。
ひのっ子の代表としての誇りと自覚をもって一人一人が自分のもてる力を発揮して、力強く走ります。皆様の応援をどうぞよろしくお願いいたします。
(学校課)

麻しん(はしか)・風しんの予防接種を受けましょう!
小学校入学前の年長児へ

「麻しん(はしか)」は非常に怖い病気で、医学が発達した現代でも、特效薬はありません。また、今年度は「風しん」が近年にない流行となりました。麻しん・風しんの予防接種は、一生のうち2回予防接種することで疾病の発症を予防することが期待できます。

小学校入学前の年長児は、法定(無料)で予防接種ができる平成26年3月末までに、必ず接種するようにしましょう。

予防接種を受けるには、健康課から送付された「麻しん風しん混合(MR)第2期予防接種のお知らせ」をご覧の上、実施医療機関に連絡し、健康保険証と母子健康手帳を持参して受診してください。

【問合せ】健康課
(電話 581-4111)

郷土資料館体験学習会

昔の地層に触れ化石を探そう

昔、私たちの住んでいる日野に海が広がっていたのを知っていますか？およそ100万年から200万年前のことです。日野のあたりは浅い海の底であったり、潮の満ち引きで陸になったり水面



下に沈んだりする土地であったりようです。

多摩川の河川敷では、このころに積もった火山灰や泥・砂などの地層を観察することができます。150万年ほど前の地層の中からは、メタセコイヤなどの植物をはじめ、様々な貝やクジラ、アケボノゾウなどの化石、ゾウやシカなど動物の足跡も見つかっています。

こうした地層や化石からほどどのようなことがわかるのでしょうか？

皆さんも昔の地層に触れ、化石を探し、大昔の環境や日野の大地の成り立ちを学んでみませんか？

【日時】3月16日(日)
午前9時半～正午ごろ

※悪天候の場合は中止

【集合】立川市柴崎福祉会館前
多摩川土手(多摩モノレール柴崎体育館から徒歩15分)

【講師】松川正樹氏(東京学芸大学教授)・馬場勝良氏(岐阜聖徳学園大学教授)

【会場】JR中央線鉄橋周辺上流く立日橋 多摩川左岸河川敷

【対象】小学生以上(大人も参加可能。小4以下は保護者と共に参加)30名

※定員になり次第締切り。
無料

【申し込み】2月1日から郷土資料館(TEL592-0981)へ
※持ち物や集合場所の詳細は後日申込者に連絡します。

公民館講座

「春休み 小学生集まれ! わくわく学習術」に参加しよう

中央公民館 青少年事業 「春休み小学生集まれ! わくわく学習術」が開催されます。

毎年この時期に開催される子供たちに大人気の講座です。

ふだん学校の授業では体験できないような学習を春休みに体験してもらうことと、学年を超えた異年齢との交流を図ることを目的としています。

今回は浮力、気圧などをテーマにその性質や原理を専門の先生にやさしく説明してもらい、いろいろなことを体験してもら

うものです。一日目午前「紙ヒコキを長く飛ばそう!」、午後「サッカーボールはなぜ曲がるのか、落ちるのか!」、二日目午前「深海ダイバーで浮き沈みを観察しよう!」、午後は「手品のネタを突破しよう!」です。

【日時】3月26日(水) 27日(木)

午前10時から 午後3時まで

【会場】中央公民館高幡台分室
【対象】小学3年生から6年生
【申し込み】中央公民館高幡台分室で3月15日午前9時から電話で先着順に受け付け

【定員】24人
日野市中央公民館高幡台分室
電話 592-0864

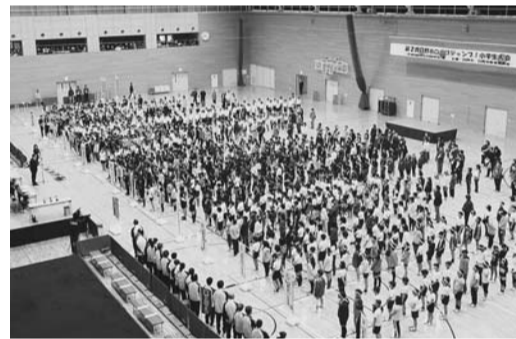
「本の森セット」が全小学校へ!

図書館では、ご希望のクラスに授業で活用される調べ学習用の図書貸出しを行っています。新しく昨年12月より、ご要望が多かった読みものの貸出しを、小学校全校にむけ開始しました。

読みものセットの内容は、
○長年子供たちに読み継がれてきた宮澤賢治、椋鳩十、あまなきみこ等々の作品
○ここ数年、市立図書館で人気のある作品

○図書館職員が毎年小学校3年生のクラスを訪問、ブックトーク(本の紹介)をし、その際、子供たちの反応がとても良かった作品

ファンタジーあり、スポーツ



『第3回日野市ロープジャンプ! 小学生大会』が開催されます

「第3回日野市ロープジャンプ!小学生大会」が市内公立小学校参加のもと開催されます。練習を積んだ成果と団結したチームワークで熱い戦いが繰り広げ

られます。たくさんのご声援よろしくお願いいたします。

【日時】3月1日(土)
午前9時～午後1時

【会場】日野市市民の森ふれあいホール

【問合せ先】文化スポーツ課



日本人の寿命は、男女ともに80歳を超え、日本は世界一の長寿国となりました。

高齢者の割合が増える近い将来、人口の25%が75歳以上の高齢者となります。

一方、生きるための食品では、添加物があふれ、コンビニでは24時間、食べ物が売っていないながら朝食を食べない不規則な生活者が増えています。

家庭教育通信 ②

親子でつくろう我が家のルール

○携帯電話とパソコンは使いよう

携帯電話やインターネットは、使い方一つで、役立つ道具にもなれば、子どもの身を危険にさらす道具にもなりません。外の世界とすぐに情報がつながることによって、見知らぬ危険な世界と子どもが直結してしまう可能性があります。

子どもが使用したいと言ってきたときこそ、話し合いのチャンス。「なぜ使用したいのか」などについて、親子で話し合い、納得した上で、使う・使わないを決めましょう。

使うときには、例えば、フィラリング機能を設定する、携帯電話は寝るとき部屋に持ち込まない、夜10時以降は使わないなどの使用場所や使用時間、使つてよい目的などについて、それぞれの成長段階に合ったルールを家庭で決め

この高齢化と飽食時代を健康で長生きできるようにそして、市民の皆さん一人一人が健康でいられるようにその第一歩として食の知恵・健康の知恵を聴講されてはいかがでしょうか。

是非、親子でのお越しをお待ちしています。

【日時】2月22日(土)
午後2時開演

【場所】ひの煉瓦ホール(市民会館)大ホール

【費用】無料

【主催】日野市文化協会

【問合せ】文化スポーツ課
585-1111
内線 3811

【講師プロフィール】
1947年 日野市生まれ
日野市在住
学校法人服部学園服部栄養専門学校卒業。
現在、服部学園にて食品学教授を務める。

管理栄養士・栄養士・調理師・製菓衛生師の資格を持つ「食のプロフェッショナル」として食品教育の傍ら、ラジオ・TVなどのコメンテーターとしても活躍中。
TBSラジオ 生島ヒロシの『おはよう「直線」にレギュラーコメンテーターとして出演中。



鈴木 章生氏 (すぎきあきら)